

タイトル	表紙・執筆者紹介・奥付
著者	
引用	北海学園大学法学研究, 51(3)
発行日	2015-12-30

北海学園大学

法学研究

第 51 卷 第 3 号 149

論 説

責 任 (5)……………吉 田 敏 雄…… 1

当事者主義的民事訴訟運営と制裁型スキームに関する一考察（八・完）
— 日本民事訴訟法の当事者照会とアメリカ連邦民事訴訟規則の質
問書を素材として — ……………酒 井 博 行…… 45

研究ノート

携帯電話利用サービス契約における解約金条項に関する諸問題（一）
……………佐 藤 弘 直…… 91

資 料

〈判例研究〉アルコールを身体に保有した状態でスマートフォンの画面
を注視しながら自動車を運転し、歩行者四名に衝突して三名を死亡、
一名を負傷させた事案について、危険運転致死傷罪の成立を認め懲
役二二年を言い渡した事例（小樽飲酒ひき逃げ事件第一審判決）
……………神 元 隆 賢……131

史料紹介：『厚谷家録』……………坪 田 芳 典……145

2015年12月

北海学園大学法学会

執筆者紹介（アイウエオ順）

神元隆賢 本学法学部准教授

酒井博行 本学法学部准教授

佐藤弘直 札幌大谷大学社会学部専任講師

坪田芳典 本学大学院法学研究科博士課程

吉田敏雄 本学法学部教授

法学会会長

草間秀樹

編集委員（責任者）

中村敏子

編集委員

吉田敏雄

平成27年12月21日 印刷
平成27年12月30日 発行

発行人 北海学園大学法学会
☎ 062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1番40号

印刷所 株式会社アイワード
☎ 060-0033 札幌市中央区北3条東5丁目

THE HOKKAI-GAKUEN LAW JOURNAL

Vol. LI No. 3 December 2015 (149)

CONTENTS

Articles

Schuld (5)..... Toshio YOSHIDA..... 1

A Study for Realization of Adversary Procedure in Japanese Civil Litigation and Introduction of Sanction Scheme as a Basis for Adversary Process (8) — A Suggestion from Comparing Party Inquiry in Japanese Code of Civil Procedure with Interrogatories in U. S. Federal Rules of Civil Procedure —
..... Hiroyuki SAKAI..... 45

Note

Einige Probleme über die Ablösesummeklausel
..... Hironao SATO..... 91

Materials

Case study
..... Takayoshi KANMOTO.....131

ATSUYA KAROKU
..... Yoshinori TSUBOTA.....145